

新米「あきたこまち」をドライブスルー販売

10月9日(土)と10日(日)、今年産「あきたこまち」の特売セールが当JAの低温倉庫4カ所で開かれ、カントリエレベーターやライスセンターで乾燥調整した1等米の玄米を特別価格で販売しました。混雑緩和のため事前に電話注文も受け付け、11日(月)から13日(水)に御野場グリーンセンターで引き渡しました。5日間の販売数量は4022袋に上りました。

待望の新米を手に入れようと朝早くから地域住民の車が列を作り、来場者が乗車したまま会計を済ませるとJA職員が車内に米を積み込みました。トランクいっぱいにとめ買いする人や「親戚にも贈りたい」と話す姿が見られました。

新米を来場者の車に積み込む職員



多彩なイベントでライフサービス利用者へ感謝

(株)JA秋田なまはげライフサービスが運営するAコープ大正寺店で、10月14日(木)から17日(日)に34周年大創業祭が開かれました。日替わりで「純生食パン」や青果物の特別販売、卵のプレゼントなどの催しが行われ、14日(木)のマグロの解体ショーでは「34年間ありがとう」という従業員の手紙を皮切りに、本マグロが捌かれていく迫力ある光景が来店客の目を惹いていました。

15日(金)と16日(土)にはセルフ北、雄和、戸島給油所でもお客様感謝祭が行われ、給油や洗車などをお得に利用しようと、多くの地域住民が訪れました。

来店客の注目を集めたマグロ解体ショー



NEWS & TOPICS

秋田地区営農フェア

10月22日(金)と23日(土)、秋田地区の生産者を対象にした「秋田地区営農フェア」が、雄和支店の敷地内で開かれました。予約注文コーナーでは営農経済部の職員が効果的な肥料や農薬を提案したり、生産者の悩みに答えたりしました。実際に雑草や野菜などを持ち込んで対策を伺う生産者も見られました。

秋田米新品種「サキホコレ」の試食コーナーや、玄米の品種や等級を当てるコーナーも設けられ、来場者は食感や外観で品種の特徴などを感じていました。農機具展示コーナーでは、最新型の自動操縦の田植え機や共同購入トラクターなどが来場者の注目を集めました。

来年度の作付けについて意見を交わす生産者と職員



共済個人目標を早期達成した職員を表彰

共済事業の個人目標を早期に達成した当JAの職員を役職員が表彰し、さらなるサービスの向上や自己研鑽に向けて激励しました。

男鹿支店で総合渉外を担う保坂朱莉職員は6月末日までに今年度の目標を達成し、佐藤広美組合長から奨励を受け取りました。男鹿支店JAの目黒紗希主査と御野場支店スマイルサポーターの鈴木由美子主査、総合渉外の門間瑠美職員も9月末日までに達成し、10月6日(水)に表彰されました。

今後も役職員間で業務のフォロー体制の整備や情報共有を進め、職員の能力やモチベーションの向上、一層のサービスの充実に努めていきます。

早期達成の表彰を受けた職員ら

